



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

インターンシップに参加して

高崎北高校一年 神戸 獅文

(群馬地方協力本部高崎地域事務所担当)

私は学校授業の一環とし相馬原駐屯地及び熊谷基地のインターンシップに参加しました。コロナ禍による制約があり自衛隊のほんの一部しか見ることができませんでしたが、私の感じたことは以下のとおりです。

まず一つ目は、どの隊員の方々も誰もが高い目標、夢や希望を持ち日々の訓練に取り組んでいるのだと思いました。話を伺わせて頂いた隊員の中には、東日本震災を経験して自衛官になったという人もいれば、部下たちをまとめられる人になりたいという目標を持った人もいました。私はそのような意思を持った隊員が多くいるからこそ世界から高く評価される自衛隊が成り立っているのだと思います。

二つ目に感じたことは、どの隊員の方々も明るく優しく人間関係も良好で働いており、また、勤務環境が非常に良いという点です。第Ⅷ偵察隊を見学させて頂いた際、入隊してから二年目という人もいれば長く働いている人もいて、年齢層の差が大きいかにも関わらず非常に仲がよいことが伝わってきました。自衛隊の部隊によっては訓練が非常に厳しいところもあると思いますが、支え合える仲間が幅広い年齢層でいるからこそ乗り越えられるのだと思います。正直私はこの人間関係の良さに魅力を感じました。

三つ目は、何といっても食事がおいしいという点です。実際に二日間、とてもおいしい食事を頂きました。中でも相馬原駐屯地で頂いた2種類のルーのダムカレーがとても印象深く感激しました。こんなにおいしい食事を朝食晩食べられる自衛官は本当に羨ましく感じました。今回体験させていただいたことは自衛官を目指す私にとっても貴重でした。自衛官になりたいという意思がより一層強くなりました。今回のインターンシップに協力して下さった隊員の皆様に感謝したいと思います。



左側から二番目（神戸さん）



熊谷基地消防隊での研修の様子



12 偵察隊員と記念撮影



熊谷基地での研修の様子